

## ドライバー異常時対応システム(EDSS)搭載バスの導入 について

中国ジェイアールバス株式会社(本社広島市 代表取締役社長 前田昌裕)は、2018年9月19日(水)、ドライバー異常時対応システムを搭載した最新の大型貸切バス(いすゞ自動車株式会社製)を、導入いたしました。

弊社では、安全で安心してご利用いただけるバス輸送を提供するため、ソフト対策及びハード対策の両面から安全対策を推進しており、ハード対策として最新の安全装置が搭載された車両の導入に至りました。

### 1 導入目的

近年、バス業界では、ドライバーの健康状態が急変し、運転の継続が困難な状況に陥ってしまう事故が複数発生しております。

弊社では、安全対策を推進し事故防止を図る中、リスクへの対応にも力を注いでいます。その中でも、ドライバーの健康状態に起因する事故もリスクと位置付け、対応訓練やトレーニングなどソフト面の強化のほか、ハード対策として最新の安全装置が搭載された車両を積極的に導入し、安全性の向上及びリスクへの対応を目的としています。

### 2 最新機能及び装備

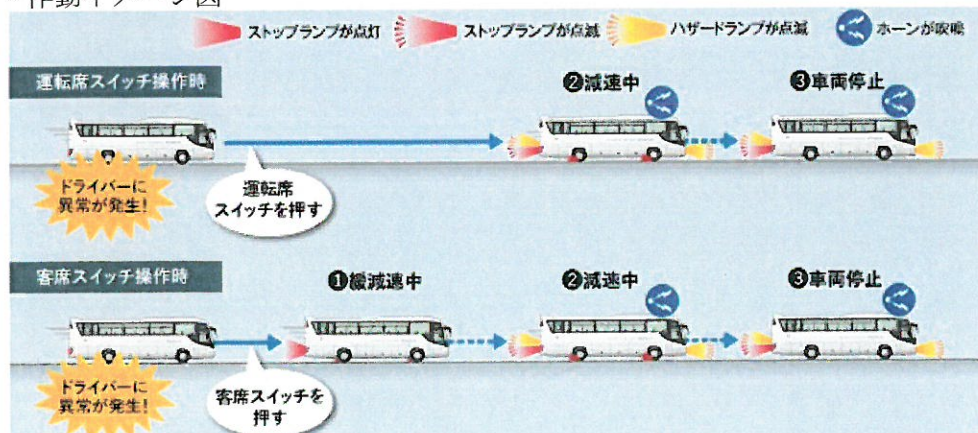
#### (1) ドライバー異常時対応システム (EDSS : Emergency Driving Stop System)

ドライバーに急病などの異常が発生した際、乗務員又は乗客が非常ブレーキスイッチを押すことで、車両が減速を開始し、徐々に減速して停止します。同時に車内では、非常ブザーが鳴るとともに、客席スイッチ内臓ランプが点滅、赤色フラッシャーが点滅して乗客に伝達します。周囲には、ホーンを鳴らし、ストップランプとハザードを点滅させて異常を知らせます。

- ・運転席スイッチ
- ・客席スイッチ(最前列2カ所)
- ・車内赤色フラッシャー点滅



#### ・作動イメージ図



## (2)AMT（自動変速式 マニュアル トランスミッション）の採用

クラッチ操作が不要な変速装置で、走行状況に応じて手もとで自在に変速を切り替えられるマニュアルモードと、ギヤ段を自動的に選択するオートマチックモードの選択が可能です。燃費効率の良い走行やドライバーの負担軽減に貢献します。



・ギアセクター  
ダイヤル操作によりギヤの切替を行います。



・シーケンシャルレバー  
マニュアルモードへの切替やギヤの UP/DOWN を行います。

※詳しくは、いすゞ自動車株式会社のHPをご覧ください。  
<http://www.isuzu.co.jp/product/bus/gala/index.html>